

## 平成19年9月中間期 損害保険会社決算概況

### 1. 平成19年9月中間期決算の特徴点

平成19年9月中間期決算の特徴は、前中間期間と比べ台風災害による保険金支払に伴う負担が減少したことから、収益が改善し、保険引受利益は、前中間期間の255億円の赤字から、91億円の黒字に転じました。

加えて、資産運用成績が好調だったことから、前中間期間比で経常利益が41.8%、中間純利益が72.6%それぞれ増益となりました。

### 2. 決算概況

経常収益は、保険引受収益が4兆3,416億円、資産運用収益が3,828億円、その他経常収益が161億円となった結果、前中間期間比530億円(1.1%)減の4兆7,405億円となりました。

一方、経常費用は、前中間期間比1,274億円(2.8%)減の4兆4,878億円となりました。

この結果、経常利益は、前中間期間の1,783億円から744億円(41.8%)増益の2,527億円となり、税引後の中間純利益も、前中間期間の1,033億円から750億円(72.6%)増益の1,782億円となりました。

### 3. 保険引受の概況

#### (1) 正味収入保険料

正味収入保険料は、活発な荷動きを反映して海上保険が引き続き好調でしたが、主力の自動車保険、火災保険の減収により、全体としては微減(前中間期間比0.1%減)の3兆7,851億円となりました。

\* 正味収入保険料 = 元受正味保険料 + 受再正味保険料 - 出再正味保険料

#### (2) 正味支払保険金

正味支払保険金は、自動車保険、傷害保険等の支払保険金が増加し、前中間期間比171億円(0.8%)増の2兆925億円となりました。

\* 正味支払保険金 = 元受正味保険金 + 受再正味保険金 - 回収再保険金

また、損害率は、前中間期間の59.1%から59.9%へ0.8ポイントアップしました。

#### (3) 保険引受に係る「営業費及び一般管理費」

保険引受に係る「営業費及び一般管理費」は、信頼回復に向けた社内体制整備を行っていること等から、前中間期間に比べ206億円(3.6%)増の5,931億円となり、事業費率は0.5ポイントアップの32.4%となりました。

#### (4) 保険引受利益

正味収入保険料は微減となったものの、前中間期間と比べ台風災害による保険金支払に伴う負担が減少したことから、保険引受利益は、255 億円の赤字から 91 億円の黒字に転じました。

\* 正味支払保険金と支払備金繰入額の合計は、638 億円(2.9%)減少

\* 保険引受利益 = 保険引受収益 - 保険引受費用 - 保険引受に係る営業費及び  
一般管理費 ± その他収支

#### 4. 資産並びに資産運用の概況

当中間期間末における総資産は 37 兆 7,034 億円で、前中間期間末と比べて株価水準が上昇したこともあり、35 兆 9,914 億円から 4.8%の増となりました。

また、利息及び配当金収入は、企業業績の回復・改善により配当金収入が増加したことなどから、前中間期間比 21.1%増の 3,703 億円となり、収益を底上げしました。

#### 5. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、全社とも法律で求める適正な水準であり、健全性については問題ない状況であります。

#### 協会加盟会社 (22社)

あいおい損保、朝日火災、共栄火災、ジェイアイ、スミセイ損保、セコム損害保険、セゾン自動車火災、ソニー損保、損保ジャパン、そんぼ24、大同火災、東京海上日動、トア再保険、日新火災、ニッセイ同和損保、日本興亜損保、日本地震、日立キャピタル損保、富士火災、三井住友海上、三井ダイレクト、明治安田損保

## 損害保険会社の平成19年9月中間期決算概況

